



わが家の巨木

タブノキへ

いつも私達を見守ってくれてありがとう。
 わが家のタブノキは雨がふったら雨をしのいでくれるし、夏は強い日差しをさえぎってくれる。わが家の目じるしにもなってくれる。住みついた鳥や虫たちは、私の目覚まし時計。季節が変わると木も、ころもがえをする。『それなら他の木も同じじゃないか』と思うかも。しれないけれど、わが家のタブノキは迫力がちがう。わが家だけでなく、お散歩をしている町の人もつつみこんでくれる。みんなが知っているわが家の巨木。

でも、大雨や雷の日は雷が木に落ちないかなと心配になってしまふ。それでも私はこの木が好きで、

私が小さいときからずっと見守ってくれている。ようち園バスを待っている時に、雨や風から守ってくれた。今では小学校への登校や帰宅を見守ってくれている。これからもよろしくね、私のもう一人の家族。